

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月17日(金)

1. 基本事項

施策		保育サービスの充実		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	こども未来部 保育課
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象			本施策では子育て支援の充実を図るため、就労等により児童の保育を必要とする保護者に対し、民間活力を取り入れながら運営体制の強化を図り、保育ニーズへの柔軟な対応や保育サービスの充実を図る。
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり				
	小項目	2	保育サービスの充実				
	主要プロジェクト	1	出産子育て安心ふかやプロジェクト				
重要度・満足度	子育て支援の充実に対する市民の重要度は高い一方、満足度は低い状況となっている。今後は少子高齢化社会の進展を見据えたうえで、保育サービスの充実を図っていかねばならない状況となっている。			施策推進のための主な取組	保育内容の充実 民営化の推進 一時保育・休日保育・延長保育・病後児保育などの充実 学童保育室の保育内容及び施設の充実		
施策を取り巻く社会状況等	核家族化の進行、共働き世帯の増加等に伴い、保育園や学童保育室を充実させることが求められている。また、就労形態の多様化により、低年齢児保育、延長保育等のニーズが高まっている。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	達成	達成	達成	
成果指標	仕事と子育ての両立ができていると思う市民の割合	%	-	66.00	67.00	68.00	69.00	70.00
	市民まちづくりアンケート		63.50	65.20	77.40	80.20	77.50	
	認可保育園の待機児童数	人	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	待機児童数調査・保育台帳(当該年度4/1基準)		2.00	42.00	0.00	0.00	0.00	
	学童保育室の待機児童数	人	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	待機児童数調査・保育台帳(当該年度4/1基準)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>保育園においては、老朽化している私立保育園1園を、国の保育所等整備交付金の活用により改修することができた。学童保育室においては、小学校の余裕教室を活用することができた。これらの取組により、保育を必要とする児童の受け皿を確保することができ、保育園、学童保育室ともに待機児童ゼロを維持することができた。今後も、保育園や学童保育室に対するニーズを把握し、待機児童が発生しないよう、定員の確保に努めていく。</p>				
			評価者	保育課長 坂倉 茂

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園においては、引き続き、老朽化や定員確保を目的とした整備の支援を実施する。</li> <li>・学童保育室においては、引き続き、小学校の余裕教室等を活用し、待機児童が発生しないように対応していく。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

<p>幼児教育・保育の無償化や共働き世帯の増加などにより高まる保育ニーズに対応できるよう、国の交付金を活用するなど、保育施設の整備に対する支援を実施し、適切な定員の確保に努めていく。また、学童保育室については、引き続き、教育部と連携・協力しながら、教育施設等を活用し、待機児童が発生しないように対応していく。</p>	
所属長	こども未来部長 小林 利夫